



**【沿革】** 1888年(明治21年)の創立。2005年、市町村合併で伊集院町立から日置市立となった。地域の作文や花壇のコンクールで最優秀賞を獲得するなど、文化活動での活躍が目立つ。日置市伊集院町土橋1377番地。

**【校区】** 山々に囲まれた自然豊かな地域。農業が盛んで、ハクサイ、ダイコン、イチゴ、ミカンなど様々な野菜、果物が栽培されている。土橋小の校庭にあるイチゴの苗木は毎年秋、ギンナンの実を集めて近くの物産館「チェスト館」で販売している。

こんな学校



つちばし  
◇日置市立土橋小学校 (松山隆志校長、児童48人)



ふかしイモを食べ、笑顔を見せる児童たち

# 土っこ秋祭り 住民と交流

土橋小で日、児童たちと地域の人が昔ながらの遊びを一緒に楽しんだり、サツマイモを食べながら懇談したりする恒例の「土っこ秋祭り」が開かれた。(丸山一樹)

総合的な学習の時間を活用し10年以上前から続いている。児童たち自ら育てたイモの収穫の喜びを感じること、地域住民との親睦を深めることが目的だ。今年には保護者、地域のボランティアら約100人を招待した。まず、お年寄りたちが「メンコ」や「けんま」などの遊び方を児童たちに伝授。その間、保護者たちは、ふかしイモを調理し、完成すると全員でおいしく味わった。

今年のイモは、日照時間に恵まれたこともあって丸々と太って甘みも上々だった。4年生の君(10)は「サツマイモを作る時は草取りが大変だったけど、とっても甘くなったのでうれしい」と、口いっぱいにはおぼりながら話していた。

大山健治教頭(55)は「子供たちは大変楽しんでくれて、地域の皆さんも楽しんでくれた」と話した。

## 地元新鮮食材 品ぞろえ豊富

チェスト館

土橋小の近くに地元産の農産物を販売する「チェスト館」があり、連日、多くの買い物客でにぎわっている。

旧伊集院町(現・日置市)が国の補助事業を活用して建設し、2002年5月にオープンさせた。現在は日置市の指定管理者「株式会社チェスト館」が運営している。約700平方

た、地域の方々からは「子供たちに元気をもらった」と言ってもらい、ありがたい」と語った。

地元の農産物などが並ぶチェスト館



## 贈る言葉

土橋地区公民館館長

さん 70

1957年卒



私の小学生の頃はランドセルがなくて、風呂敷に教科書を入れて登校していた時代。長い廊下で雑巾がけはつらかったけれど、学芸会でカステネットをたいて合奏したことは楽しい思い出です。

## 地域盛り上げていく

学校は「大きな木」と、子供心に思っていたことを覚えています。今はさらに大きくなっています。自然の力を感じると、元気をもらえます。

当時300人以上いた児童も現在は50人弱。地域の子供たちがずっと土橋小に通えるよう、公民館の館長として、地域の花火大会や運動会を盛り上げたいと思っています。(日置市伊集院町)

◇次回は日置市立伊作田小学校  
12月12日に掲載の予定です

このページに掲載した写真を実費でお分けします(提供写真と「贈る言葉」の写真は除く)。問い合わせは☎092・715・5955か、最寄りの販売店へ。